



# 長久保赤水

NAGAKUBO ● SEKISUI



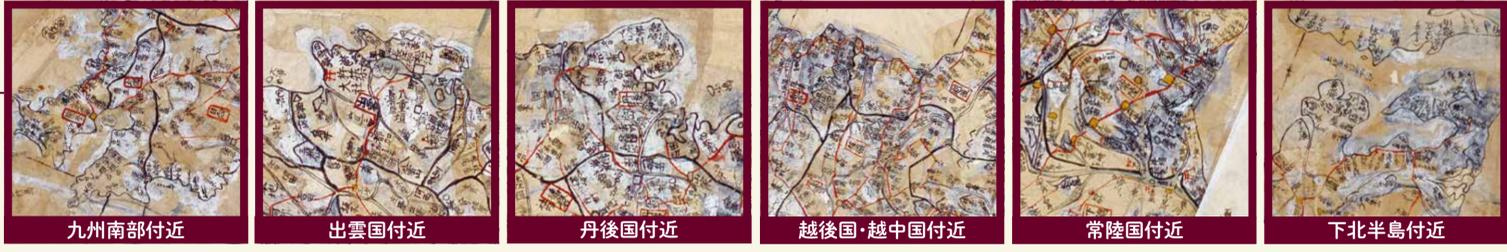
長久保赤水自画像

## 改製日本分里図

20年以上の歳月をかけて作成した『改製日本分里図』は生々しい修正痕が残り、長久保赤水の「汗と英知の結晶」であることがわかる。  
▼「赤水図」の原図 明和5(1768)年



和紙を幾重にも貼り、考証を重ね、胡粉による修正を加えていた



### ◆国の重要文化財指定記念 原寸大『赤水図』レプリカ (再版・両面刷り)

令和2年11月6日(赤水の誕生日)発行予定!

高萩・赤水を愛する皆様へ

**10万円**で

**スポンサー企業名の掲載権**

クラウドファンディング10万円以上の法人寄付につきましては、原寸大『赤水図』レプリカの裏面下側に企業名が入ります。【裏面】

クラウドファンディング10万円以上のご寄付いただきました企業には、レプリカ紙面に会社名を記入いたします。詳しくは、パソコンやスマートフォンで「長久保赤水 キャンプファイヤー」を、一度検索してください。そして、私どもの活動をご支援いただければ幸いです。

さらに、今年の11月6日には、『赤水図』原寸大レプリカ【両面刷り】を発行します。このため、現在、クラウドファンディングで寄付金を募っております。なお、10万円以上ご寄付いただきました企業には、レプリカ紙面に会社名を記入いたします。詳しくは、パソコンやスマートフォンで「長久保赤水 キャンプファイヤー」を、一度検索してください。そして、私どもの活動をご支援いただければ幸いです。

【表面】  
表面には、【赤水図】で吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿ろう!! 裏面には、【赤水図の変遷】を掲載。  
原図、初版、第2版、第3版、第4版、第5版を比較できるA3判のレプリカです。  
【制作見本】

みなさまのご協力 お願い致します

こちらに企業名を掲載させていただきます

絵本「りゅうのひかり」  
絵・時崎清 文・夏井芳徳

磯田道史先生も推薦!  
『赤水図』に書かれた「蘭伽井獄の龍燈」の謎に迫る—

赤水は、『赤水図』と呼ばれる「改正日本輿地路程全図」(第2版)の中に、福島県いわき市の蘭伽井獄の龍燈について記述を残しています。  
また、『東北南部から近畿圏』の地図や紀行文の「東奥紀行」さらには、『赤水文章』の中にも、その記述を残しています。なぜ記述を残したのでしょうか?その謎に迫ります。

好評販売中 A4判変形、80ページ 定価1,000円+税

**長久保赤水顕彰会事務局**

〒318-0103 高萩市大能 341 代表 佐川 春久

Eメール : haruhisagawa@yahoo.co.jp  
ホームページ : http://nagakubosekisui.org/

長久保赤水顕彰会は全国517名で活動しています(4月21日現在)。国の重要文化財指定記念を機に、会員1,000名を目指し会員を募集しております! また、「通年」の寄付金も募集しております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

**寄付金募る! 「長久保赤水 キャンプファイヤー」で検索!!**

「長久保赤水顕彰会」では、国の重要文化財指定記念の各種事業展開のため、3月29日からクラウドファンディング「CAMPFIRE(キャンプファイヤー)」において購入型寄付を募っています。「長久保赤水 キャンプファイヤー」で検索または、左のQRコードや以下のUR Lから直接プロジェクトページにアクセスいただきぜひご支援をよろしくお願い致します。  
https://camp-fire.jp/projects/view/249538

## 関係資料693点が国民の財産に

# 祝 国の重要文化財指定が決まる

長久保赤水関連資料693点の国重要文化財指定が決まる。この資料群は、長久保赤水の子孫にあたる複数の家などに伝来した赤水手沢の一括資料で、地図・絵画類84点、文書・記録類279点、典籍類274点、書画・器物類56点から構成される。

赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸中後期の文化史、地図史等の学術的な研究上に価値が高い。



### 長久保赤水 (1717~1801)

赤水の功績としてよくに有名なのが、1779年に完成、翌年の春に刊行した『改正日本輿地路程全図』である。地図の正確さと詳細さ、便利さが喜ばれ、長い間多くの人々に役立った。まさに、近代的主な日本地図の先駆けであった。

その後は藩主の命により、徳川光圀が編纂を始めた「大日本史」の「地理志」執筆にあたり、81歳までその完成に努力し、1801年赤浜村で85歳の生涯を終えた。赤水の学者としての功績・努力は、郷土先人として多くが多い。

(「しんやぶかたじけなく」2009年11月号、シリー工藤士郎先生(長久保赤水より)

### 明治維新エネルギーの起爆剤「赤水図」

日本地図といえば伊能忠敬を思い浮かべる人が多いですが、伊能図は幕府により秘蔵され、実は江戸時代には庶民の目には触れなかったのです。これに対し、長久保赤水の赤水図は、江戸時代末期までの約100年間ベストセラーとなり、吉田松陰も愛用したと言われています。明治維新のエネルギーは、この赤水図をもとに生まれたとも言えます。

### 初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化

赤水は地図に天文学の知識を取り入れ、初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化しました。最大の特徴は実用性です。多くの情報を収集し、学問的に考証し考証を重ねた編纂図です。若い時から和漢の天文・地理の書に精通し、木村兼霞堂や古川古松軒など幅広い交友関係があったので、正確で詳細な地図が作れたのです。

### 松下村塾や全国の藩校で使われた赤水図

浦賀にペリー艦隊が来た時も、伊能図は江戸幕府の秘図のため、ごく限られた幕府要人しか見ることができず、明治初年まで一般人は利用できませんでした。このため、萩の松下村塾をはじめ全国の藩校で使われていたのは、赤水の日本地図、中国地図、世界地図、中国歴史図帳でした。江戸時代の人々に、日本が世界のどこにあり、今自分が日本のどこに立っているかを教えてくれた地図です。幕末の黎明期に、諸外国が日本を植民地化しようとして押し寄せて来た時に、日本を救ったのが赤水図なのです。

### 伊能忠敬も赤水図を測量にも携帯

小宮山楓軒の「懷宝日記」には、【伊能忠敬は幕府の命令で日本地図を製作している。人に話して「私は諸州を歩き回って実測で地図を作ったが、非常に難しいと感じる。水戸の長久保赤水が居ながらにして地図を作れたことには、非常に感心する」と書いている。】さらに「江戸日記」や「測量日記」に【忠敬も赤水図を所持しており、測量にも携帯して随時参照している】とあります。

### 世界に適用した日本が誇れる先人、長久保赤水

長久保赤水は、明治44年6月1日に、日本地図や大日本史地理志編纂などの功績で、従四位を贈られました。時の内閣総理大臣は桂太郎でした。松平昭訓、貝原益軒、瑠保己一、桂川甫周、大槻玄澤、柴野彦輔などと並んで、5番目に長久保源五兵衛(赤水)の名前があります。この時の追贈者は全部で13名でした。

### ご挨拶



茨城県知事 大井川 和彦

この度、「長久保赤水関係資料」693点が、国の文化審議会の答申を受け、国指定重要文化財に指定される運びとなりましたことを、心からお祝い申し上げます。本資料の学術的価値が高く評価されたことは、これまで永きにわたり保存と活用に熱心に取り組まれた長久保赤水顕彰会をはじめ関係者の皆様のたまねぎご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第です。

本県では、平成29年1月に、「長久保赤水関係資料」を、赤水の地図製作過程ならびに天文学等の解明に係る学術的価値がきわめて高い資料群として、茨城県指定有形文化財(歴史資料)に指定いたしました。

この度、本資料が国指定重要文化財に指定されることで、長久保赤水の人となりや功績が全国の方々に深くご理解いただけますことや、県民の皆様が郷土に対する愛着や誇りがより一層育まれますことを期待しております。最後に、長久保赤水顕彰会の更なるご発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



高萩市長 大部 勝規

このたび、長久保赤水関係資料が国の重要文化財指定を受けることとなりました。赤水の郷里である高萩市民の一人として誠に誇らしく、嬉しく思います。

長久保赤水は江戸時代の儒学者です。高萩市赤浜の農家に生まれ、学才を認められて水戸藩主の侍講(教師)となり、江戸に勤務するかわら、地理学・天文学・農政学等多岐の分野にわたる研究成果を生み出しました。

これまで本市では、赤水ゆかりの子孫の方や郷土史家の方々、長久保赤水顕彰会から資料のご寄贈を受けており、これをもって大変貴重な資料群の所有に至りました。今回の国重要文化財に指定される資料のほとんどはご寄贈いただいたものであります。

今後私たちは、国民の財産となります長久保赤水資料の保存と活用を進めてまいります。かつて、赤水が研鑽の成果として発行した日本図は、赤水の没後も版を重ね、国内外において日本の国土理解に大きな役割を果たしました。私たちが赤水にない、資料の効果的な公開を図るとともに、国内外へ赤水の業績を広めてまいりたいと考えております。今年度策定しました高萩市観光振興計画では「長久保赤水ゆかりの地PR事業」を、歴史遺産を周遊する観光づくり事業として位置づけております。本市としては、長久保赤水について学び、顕彰することで、活気あるまちづくりを進めてまいります。

### 「赤水図」原寸大レプリカを記念発行!!



長久保赤水顕彰会会長 佐川 春久

長久保赤水顕彰会は、赤水先生の生誕275年にあたる平成4年11月6日の誕生日に設立されました。

その後、2017年の生誕300年を経て、今日まで各方面の皆様方のお力添えをいただきながら、このほど、お話しになりました多くの皆様方に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、今後は、「学ぼう赤水を 教科書に載せて 広げよう世界へ!」「ひよっこ次は『大河ドラマ長久保赤水伝』を実現しよう!」「長久保赤水記念館の開館」の3本柱を掲げ、会員一丸となって目指して参ります。

さらに、今年の11月6日には、『赤水図』原寸大レプリカ【両面刷り】を発行します。このため、現在、クラウドファンディングで寄付金を募っております。なお、10万円以上ご寄付いただきました企業には、レプリカ紙面に会社名を記入いたします。詳しくは、パソコンやスマートフォンで「長久保赤水 キャンプファイヤー」を、一度検索してください。そして、私どもの活動をご支援いただければ幸いです。

「赤水図」は一世紀にわたり流布

江戸時代の印刷方法は?

郷土に育まれた赤水

松岡七友

好字な七友が集まり、互いに交点を深め、研修に励んだ。これは常陸地方において最も古い庶民好字の事例であり、高萩地方だけではなく、水戸の文化復興の助けにもなった。

マンガ『長久保赤水物語』(長久保赤水顕彰会発行)より

西暦	年号	年齢	赤水傳の背景
1717年	享保二	1	長久保赤水誕生。
1730年	享保一五	14	このころ下手筆の長久保水澤(松岡)の塾に通い始める。
1741年	寛保元	25	松岡友の入門。
1744年	寛保三	28	鈴木玄澤及び松岡七友と共に名取南深田師事する。
1760年	天明二〇	44	七月、東奥に出る。磁石を用い、計測する。山岳、松島宮井、鹿野の奥の測量を以て、地志書へ出向。
1765年	天明二五	49	十月、藩邸前・現北茨城市の地志丸が遭難し、ペトナムに漂着する。
1770年	天明三〇	54	九月、磯原村屋敷として、長崎時の役を水戸藩より下命され、ペトナム漂流民の引き取りのための赤浜村を出る。
1776年	天明三六	60	十二月、務めを果した上、帰郷。
1777年	天明三七	61	三月、「新日本輿地路程全図」が柴野山本の序を得て完成。赤浜帰郷。
1778年	天明三八	62	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1779年	天明三九	63	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1780年	安永元	64	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1781年	安永二	65	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1782年	安永三	66	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1783年	安永四	67	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1784年	天明五	68	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1785年	天明六	69	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1786年	天明七	70	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1787年	天明八	71	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1788年	天明九	72	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1789年	天明一〇	73	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1790年	天明一一	74	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1791年	天明一二	75	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1792年	天明一三	76	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1793年	天明一四	77	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1794年	天明一五	78	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1795年	天明一六	79	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1796年	天明一七	80	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1797年	天明一八	81	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1798年	天明一九	82	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1799年	天明二〇	83	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1800年	天明二一	84	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。
1801年	天明二二	85	藩主の命により、「大日本史地理志」編纂に従事。

参考文献: 長久保片雲 1978『地政学者長久保赤水伝』朝日新聞社